

「マクガバンレポート」から～2

このレポートの前身、1971年にアメリカのニクソン大統領は、国家的プロジェクトとして「ガン撲滅計画」をスタートさせ、巨額の研究費を国立ガンセンターなど、西洋医学を中心とした政府機関に投じました。

しかし、ガンは年々増え続け、結局ガン戦争に勝てませんでした。

この計画は実現されないまま、同年1977年にマクガバンレポートが発表されました。こうして米国の疾病対策は、治療から予防へと大きくシフトしたのです。

この歴史的レポートは、「日本以外」の先進国が健康政策の原典としています。

これら深刻なビタミン・ミネラル不足を、

アメリカは世界に警告しましたが、それを日本だけが無視し続けています。

それどころか、過去の間違ったアメリカの栄養学を追う形をとり続けています。

事実、栄養学に関しては30年近く、遅れています！

その結果、女性においては世界第一位、男性は第二位の長寿を誇る日本は、本当に健康な人は実はわずか5%程しかいないとも言われています。寿命を全うするまで、寝たきりの期間も長いのが現実です。

当然のことながら、アメリカでは、医療費の増大によって「医療制度の破綻」を懸念して、始まった研究です。

日本では、現在でも「国民皆保険」として、収入に応じて一定額の保険料を払えば、一律での負担金額で、医療を受ける事が出来ます。

しかしながら、この「日本の医療制度」は、いつまで維持できるのでしょうか？

先進国において、日本の医療費はGTPの比率からいっても、決して多くはありません。(約10位近辺)

当然のことながら、アメリカがダントツのトップです。

ただ、アメリカは「市場原理主義」に基づいた、「医療保険制度」なので、一概に当てはまる訳ではありません。

仮に、アメリカのような「市場原理主義」の「保険制度」になったら、お金持ちは、最先端医療が受ける事が出来、それ以外の人たちは、まともな医療が受けられない...

そんな、状態になります！

でも、そのような「危惧」を抱かざるを得ない、そんな日本の「医療制度」になりつつあります！

アメリカは、このような背景の下で、「代替医療」「予防医学」が発達してきました。

そして、病気の患者の、約4割はこの「予防医学」「代替医療」で、治療を行っています。

具体的には、クリニックにかかり「ビタミン、ミネラル」を処方してもらい、「化学薬品」に頼らず、「治療」をしていくのです。

また、多くの人たちが「ビタミン、ミネラル」を日頃、摂取して、病気にならないように「予防」しているのです。

アメリカの小学生は、疲れると、ビタミンBコンプレックスを、自分の意志で飲みます。

アメリカの一般的な食事では、健康を維持する為の多くの「栄養素」を摂取出来ない事を、小学生から学んでいるのです！

日本のビタミンショップの店頭には「ビタミンBコンプレックス」「ビタミンC」「ビタミンE」「ビタミンD」などなど、単体として、売っていますが、アメリカでは、「**副腎皮質を改善するサプリメント**」「**胃壁の強化をして胃潰瘍を改善するサプリメント**」やら、「**50歳以上の男性が飲むサプリメント**」「**心身症を改善するサプリメント**」と、症状に合わせた「サプリメント」が販売されています。

患者は、自ら勉強してその「サプリメント」を自分の意志で、ドラッグストアやABCストアで購入するか、医師または、アドバイザーに相談して、購入します！

もちろん、サプリメントには「天然成分から抽出した、天然サプリメント」と「合成サプリメント」の2種類があります。

例えば、天然のビタミンCは、ローズヒップから抽出、合成のそれは、あくまで「アスコルビン酸」で、合成的に作ってあります。合成サプリメントは、肝臓への負担も大きいです。

値段は、合成サプリメントの方が安いです。

アメリカでは、こう言っています...

「合成サプリメントは、財布は軽くするが、体は重くなる！」と...

最近、「サプリメント外来」なる病院が出始めました。

大いに、結構な事だと感じます。(きちんとした知識の下で、行われている事を前提として)

アメリカでは、病気になれば、莫大な医療費が個人にかかってくるので、当然の事「予防」に国民は、知識や関心を寄せ、自らの「健康」をこのような形で、守ります。

日本には、今だこのような「兆し」は見られませんが、近い将来、否応なしに「突入」すると思います。

世界各国で、日本食がブームになっているのに、日本はその意味に気付いていないのでしょうか？

ここで気がつくのが、今の現状です。

アメリカでは伝統的な日本人の食事をして生活習慣病を減す試みをしている、一方 日本では毎日の食事が段々欧米食になっていることに矛盾を感じます。

詳しくは、後で書きますが...

マックス・ゲルソンと言う医者がありました。

彼の病院では、ガン患者に「化学療法」を行わずに、「栄養学療法」で治療しています。

人参を毎日15万IU与えます。(ビタミンA...ベータカロチン)

ジュースにして、1日15杯位飲ませます。

多くの、患者が治癒して「退院」しているそうです。

我々は、ガン患者は「再発」を繰り返すもの...として教わりました。

生存率と言う「統計学」として、教わりました。

ゲルソン病院では、「再発率はゼロ」だそうです。

ある実験で、

妊娠した13頭の豚のエサにビタミンAを全く入れずに、与え続けたら生まれてきた子供は、全員「目のない子供」だった！

そして...

世界で一番、胃薬を飲む国...日本！

世界で一番、胃がん患者が多い国...日本！

世界で一番胃薬を飲む国に、一番胃がんの患者が多い！

そして、世界で一番「精神病患者」の多い国...日本！